



# 笛南中だより

甲府市立笛南中学校  
文責 校長 井上有史

## 新生徒会役員選挙

12月9日(金)に、生徒会役員選挙が実施され、新生徒会長・副会長が選出されました。選挙に先立って、12月上旬から選挙運動が、また選挙前日には立ち会い演説会が行われ、それぞれの候補者がマニフェスト(公約)を発表しました。どの候補者も、これからの笛南中をより過ごしやすい学校とするための具体策を考え、堂々と選挙運動に参加していました。また、それぞれの陣営の支援者達も、候補者のために力の限り応援活動を推進しました。民主主義の根幹となる公正な選挙を経験することは、これからの実社会での生活に大きな意味を持ちます。特に、選挙権が18歳に引き下げになった今、改めてこの取り組みの重要性を感じています。是非、責任ある有権者に育てて欲しいと願っています。



新生徒会役員

生徒会長	望月 颯
男子生徒会副会長	眞島 李都
女子生徒副会長	角田 のの香

## SDGsへの取り組み

給食委員会では、「キエーロ」を活用した堆肥作りにチャレンジしています。これは、3年生が中心となって進めているSDGsへの取り組みの一環で、17ある達成目標の内「つくる責任つかう責任」に関わるものです。「キエーロ」はプランターに木枠と屋根を取り付けた生ごみ処理容器のことで、容器に入れた土に生ごみを埋めると、土の中の細菌が生ごみを水と二酸化炭素に分解し、堆肥ができるシステムとなっています。



給食委員会委員長の後藤楓さんは、「給食の食べ残しを少しでも有効活用し、環境問題の解決に役立てたい」との目標を語っていました。作られた堆肥は、環境美化委員会に提供し「花いっぱい運動」「野菜作り」等に活用していくとのことです。

この活動は、身近な所から環境問題へ目を向けた取り組みであり、JRC(青少年赤十字活動)の行動目標である「気づき、考え、実行する」ことを具現化することにも繋がります。今後も継続した活動になるよう見守っていきたいと思います。

## 「税の標語」最高賞受賞!



甲府間税会が7~9月に実施した「税の標語」コンテストにおいて、2年生の櫻井朋樹さんが応募数7867点の中から最高賞の「甲府間税会長賞」を受賞しました。

受賞作品は

### 「税という種が芽ぶけば 花(くに)も咲く」

櫻井さんに話を聞いたところ、国語の授業で作った作品で、「今までの受賞作品が漢字を独創的に活用していることからヒントを得て思いついた」そうです。租税教育の重要性が増している現在、この作品には中学生としてとても建設的な考え方が表れていると思います。

## 県一周駅伝甲府優勝への貢献!



12月3、4日に実施された第59回山梨県一周駅伝競走大会に、甲府代表として1区を走った3年橋田響さんが、見事区間賞を受賞し甲府市の4連覇に大きく貢献しました。

2区を走った城南中の生徒とともに新聞でも「中学生、チームに勢い」と見出し付で紹介されました。日々のトレーニングの成果が発揮された素晴らしいレースだったと思います。なお、橋田さんは来年1月に広島県で実施される第28回天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝競走大会へ山梨県代表として出場予定です。更なる飛躍が期待されます。

本年度は、スポーツや文化活動での本校生徒の大活躍ラッシュとなりました。これを受け、学校では急遽職員室前の掲示板を増設し、賞状や作品掲示を行っています。ご来校の際には、是非生徒達の頑張りをご覧いただければと思います。



## 年の瀬に

早いもので、令和5年も残りわずかとなりました。今年1年を振り返ってみると、コロナ感染症は相変わらず終息の見通しがたらず、学校生活にも様々な影響がありました。それでも、感染初期に比べ授業や行事等、制限付きとはいえ予定通りに実施できるようになったことは大きな進歩だったと思います。生徒達の前向きに行動する姿に、私たち教職員が元気や勇気をもらった場面も多々ありました。また、保護者や地域の皆様にも支えられ、ここまで無事教育活動が行えたこと、心より感謝申し上げます。

来年こそ、感染症に歯止めがかかり様々な活動が伸び伸びと行えるようになることを願って止みません。引き続き、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。